

料金別納郵便



長坂 ビショップ 大山 游刻展V

令和5年1月14日(土)~19日(木) 会期中無休

開廊時間：午前11時~午後7時(最終日19日は午後5時まで)

作家在廊日：会期中、全日在廊予定

略歴 昭和28年 父と祖母は声楽家、母と祖父は画家という長坂家に生まれる
昭和45年 舞台美術家・朝倉摂氏に師事
昭和48年 桑沢デザイン研究所 インダストリアルデザイン研究科卒業
昭和50年 株式会社婦人画報社入社
平成23年 アシェット婦人画報社(旧婦人画報社)退職
平成24年 株式会社ビショップ設立
多様な業務のほかに游刻家(石アーティスト)としても活動
手彫りのパーソナル・ロゴマークで各方面とコラボレーションを展開

印の歴史は、紀元前5000年頃のメソポタミア。その頃は、まだ文字がなく、絵や文様でした。その後、オリエントやヨーロッパ、アジアを経て、中国の殷王朝に伝来します。皇帝が用いるものを「璽」といい、官吏や一般には「印」。漢の時代には、將軍のものを「章」といいました。こうした印章を制作することを篆刻ということから、工芸美術の世界のひとつのジャンルとして「篆刻」が成立しました。

長坂ビショップ大山氏は独学でその篆刻の世界に挑み、「游刻」と名付けました。独学は天才を生むと言います。その人となりを会話するところから構想がはじまり、完成したものが手元にくるまで、何がでるかかわからない賭けを挑む時間です。そうして、唯一無二の印が出来上がってきます。私は大きな作品用をお願いしたのが一点目で想像もしない面白いものができました。驚きました。おもしろすぎて使えておりませんが、大切にしています。

風雅な方々へ、座右に置き、日常を豊かにするこの遊び心の体験をおすすめいたします。

川邊りえこ(日本雅藝倶楽部 代表、美術家)

柿屋ギャラリー
KAKIDEN GALLERY

160-0022 東京都新宿区新宿3-37-11 安与ビルB2階
03-3352-5118 gallery@kakiden.com

公式Instagram



お手間で恐縮ですが、弊廊ホームページや公式SNSにて、最新情報をご確認頂ければ助かります。

